

平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)		研究科名	総合生存学館		カテゴリー	人文科学総合科目群		横断区分	文系横断型	
授業科目名 (英訳)	人類の知的遺産の保存 Preservation of the Knowledge Heritage of Humanity			講義担当者 所属・職 名・氏名	総合生存学館 准教授 DEROCHE Marc-Henri			開講 場所	東一条館 116 セミナー室		
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単 位	開講年 度・開講 期	後期	曜時限	月5限 (16:30-18: 00)	授業 形態	講義	使用 言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>本講義では、学際的な分野としての文化財学に関する基礎を提供する。主に、文化的また人類学的カテゴリーである「無形文化遺産」(Intangible Cultural Heritage)と「伝統的知識」(Traditional Knowledge)に焦点を当てる。前半は、グローバル化の文脈での文化の多様性と普遍的価値という概念について考察する。また遺産という概念そのものと、その様々な種類(自然・文化、有形・無形など)について分析し、伝統的知識の多様な派生形、すなわちとエスノサイエンス(民族科学)の数々について考察を加える。そのうえで、「存続」あるいは「保存」と、その基礎をなす世代間の倫理、文化遺産と伝統的知識の存続を保証する様々な措置に関する問題について検討する。たとえば、認定、記録の作成、データベース、研究、伝承、教育、そして再活性化などを扱う。</p> <p>後半では、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、国際連合(UN)、世界知的所有権機関(WIPO)のような国際機関によって採択されている文化遺産と伝統的知識に関する主要な公的文書について批判的考察を行うことでさらに理解を深める。最後には、アジアにおける伝統的知識に関する二つの具体的なケースを取り上げる。(a)チベット・ヒマラヤ地域において失われつつある文献のデジタル化。(b)中国・チベットの伝統医学。特に総合生存学にとって重要と思われるその蓄積された知識に焦点をあてる。</p>											
〔到達目標〕											
文化財学の基本的な知識を得ること。また文化遺産・伝統的知識・民族科学の本質、種類、意義、保存措置に関する理解を深めること。											
〔授業計画と内容〕											
【第1回】 イントロダクション											
【I. 文化財学の一般的考察】											
【第2回】 文化の多様性と普遍的価値 —— 哲学的・人類学的考察											
【第3回】 遺産、伝統的知識の本質と種類											
【第4回】 保護の問題と措置											
【II. 文化保護に関する国際的資料の批判的検討】											
【第5～6回】 ユネスコの「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(1972年)											
【第7～8回】 ユネスコの「無形文化遺産の保護に関する条約」(2003年)											
【第9回】 「先住民族の権利に関する国際連合宣言」(2008年)											
【第10回】 伝統的知識と知財 —— 世界知的所有権機関の資料											
【III. アジアにおける伝統的知識に関するケーススタディー】											
【第11～12回】 デジタル化を通しての文化保存 —— チベット文献のオンラインデータベースを例に											
【第13～14回】 伝統医学の本質と価値 —— 中国・チベット医学の場合											
【第15回】 まとめ・討論											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
平常点とレポートにより評価する。											
〔教科書〕											

印刷資料を配布する。

〔参考書等〕

Daly, P., Winter, T. (eds). 『Routledge Handbook of Heritage in Asia』 (New York: Routledge, 2012)

Labadi, S. 『Cultural Heritage, and Outstanding Universal Value. Value-based Analyses of the World Heritage and Intangible Heritage Conventions』 (London: Rowman & Littlefield, 2015.)

Smith, L., Akagawa, N. 『Intangible Heritage』 (New York: Routledge, 2009.)

追加の参考書等を授業中に適宜紹介する。

〔授業外学修（予習・復習）等〕

指定した学術論文の講読とレポートの作成が必要である。

〔その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）〕

DEROCHE Marc-Henri: deroche.marchenri.6u@kyoto-u.ac.jp

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。